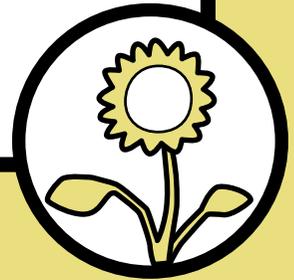
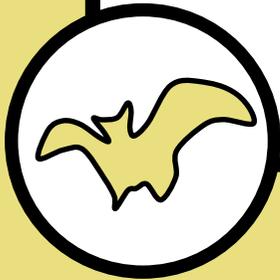


北海道大学総合博物館の

楽しみ方

北海道大学総合博物館を利用する人々に
「博物館の楽しみ方」を尋ねました。



増田 彩乃

北海道大学大学院理学院 博物館教育・映像学研究室

ご挨拶

みなさんは、博物館をどのように楽しんでいますか？

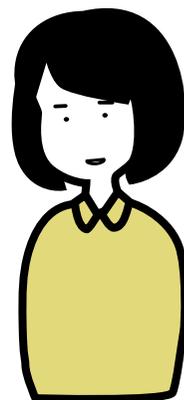
私は、北海道大学大学院理学院 博物館教育・映像学研究室に所属する大学院生です。北海道大学には、大学のモノ・コト・ヒトをつなぐ役割を担う大学博物館があります。私は博物館を訪れる多様な人々と交流を重ねるなかで、この博物館が人々にとってどのような意味や価値を持つ場であるのだろうか？と知りたくなり、修士研究の一環として、北大総合博物館の「楽しみ方」を調査しました。

研究の目的は二つあります。一つ目は、利用者の視点を通して博物館の価値を考えることで、博物館が潜在的に持つ機能や資源を明らかにすることです。二つ目は、「楽しみ方」を人々と共有することで、他の利用者や博物館運営に関わる人々に、「博物館」や「利用者」への見方を広げていただくことです。研究では、館内でのアンケートなどにより利用者の「楽しみ方」を集めるとともに、「楽しみ方」を人々と共有するためのワークショップ、座談会、ミニ展示を開催しました。

本冊子では、一連の調査で得られた「楽しみ方」と、その共有の取り組みを紹介します。本冊子を通して、北大総合博物館には多様な楽しみ方があること、多様な利用者がいることを知っていただければ幸いです。

2017年11月

北海道大学大学院理学院 自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座 博物館教育・映像学研究室
修士課程2年 増田彩乃



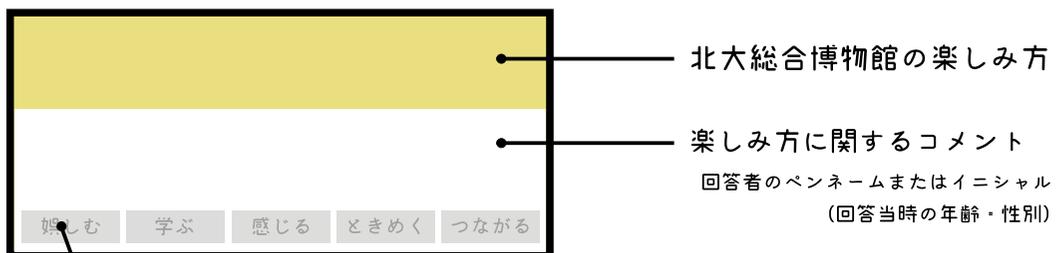
もくじ

ご挨拶	-----	1
もくじ	-----	2
北海道大学総合博物館の楽しみ方	-----	3
展示室	-----	5
ショップ	-----	20
カフェ	-----	21
空間	-----	24
イベント	-----	29
ボランティア活動	-----	31
ヒト	-----	33
授業	-----	34
楽しみ方の共有	-----	35
ワークショップ 「みんなの楽しみかたり」	-----	37
座談会 「写真で楽しみかたり」	-----	39
ミニ展示 「みんなの楽しみ方」展	-----	41
まだまだ！みんなの楽しみ方	-----	43

北海道大学総合博物館の 楽しみ方

2017年1月31日から4月30日まで行った館内での調査と、2017年7月25日から8月27日まで行ったミニ展示において、北大総合博物館を利用する人々に「あなたの北大総合博物館の楽しみ方を教えてください」と尋ねました。調査に寄せられた、北大総合博物館の楽しみ方をご紹介します。

この冊子の 見方

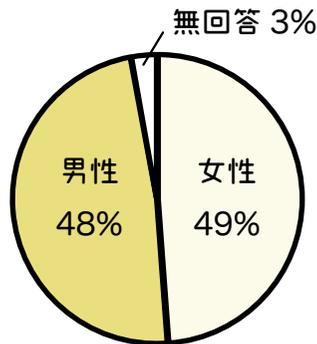


経験カテゴリ

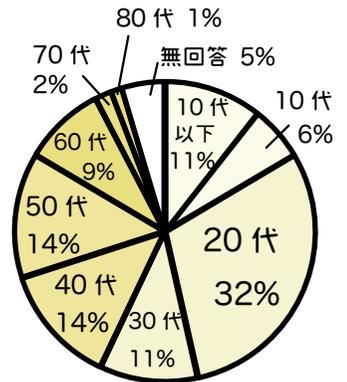
5つのカテゴリは、博物館学を専門とする教員と学生が、それぞれの楽しみ方によって得ている経験を検討し、分類しました。

- 楽しむ** 自由な見学や食事、買い物など、気晴らし的な楽しみ
- 学ぶ** 知識を得るなど、知的好奇心を満足させる楽しみ
- 感じる** 色や形の美しさなど、五感を使って感じる楽しみ
- ときめく** 心がときめき、日常の出来事を忘れるような楽しみ
- つながる** 友人や家族との仲が深まるなど、社交の場としての楽しみ

調査データ



性別



年代

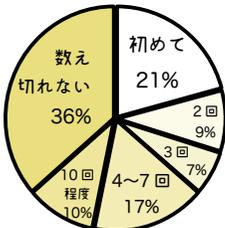
① 1～4月の調査

90件

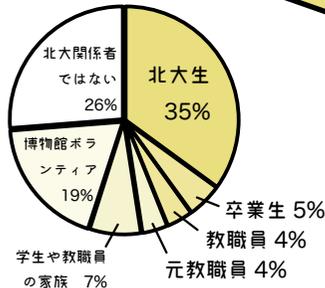


② 7～8月の調査

88件



来館回数



北大との関係

「来館回数」と「北大との関係」は、1～4月の調査のみで得られたデータです。

展示室

記録して楽しむ

お気に入りの展示物をカメラに
おさめる（白クマ、化石など）

くうさん（25歳・女性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

授業で使えるネタ探し

今日見た中では、様々な植物の種子（樹木）の展示と
か、様々な動物の脳の写真とか、電気泳動の装置とか
興味深かった！

ねこさん（40歳・女性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

PCの背景画面になりそうな
展示や掲示物を撮りながら見て回る

1Fの鈴木章氏の机（黒電話が良いアクセントになり
ました）、3Fの光学顕微鏡、天秤がずらりと並んで
いたところ、海藻、戦時中の新聞、すごく良かったです。
新聞の広告イラストが昭和な感じで絵になりました。

おやじさん（32歳・男性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

中学校で油彩をやっているので、
資料集めをしています

R・Uさん（12歳・男性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



北大総合博物館の楽しみ方 ＊ 展示室

スケッチをたくさんする

多くの標本をペンで見て（スケッチして）、何か発見できるとき、楽しいからです。

Yoshiさん（32歳・男性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ナニコレ？！→描く→見返すと・・・
→自分の好きな傾向がみえてくる！

私のお気に入りには、フカシギの数え方、棚の間のアザラシ、箱みたいな旅行鞆でした。

ちるえさん（25歳・女性）

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



めぐって楽しむ

一通り見て周り、自分の興味がある物や分野に再度行き、関心があるところでよく眺めています

S・Sさん (44歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

興味のある所はじっくりゆっくり、そうでないところは駆け足で・・・

意外と駆け足のときに発見があり、興味が湧きます。

Y・Oさん (51歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

前回来たときと変わった場所があるかもしれないので、隅々まで見て回るようにしている

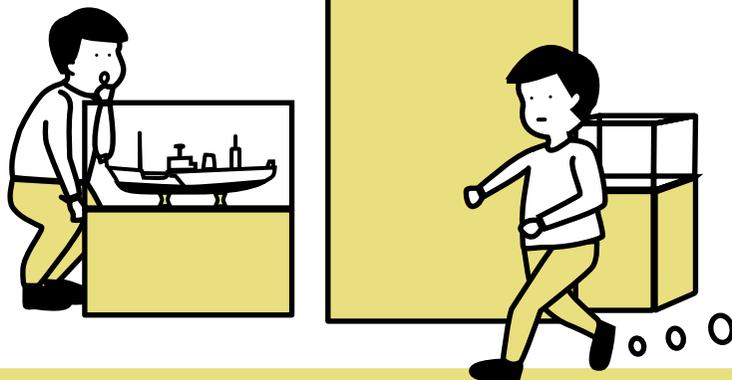
R・Tさん (20歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

他の来館者の会話を聞きながら、短時間で全体の展示室を回ってみる

M・Yさん (21歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



北大総合博物館の楽しみ方 ＊ 展示室

1回や2回では回りきれないので、どこかで区切って、次にその続きを見学しています

学部別展示の陳列品・展示物説明などによる教育・研究内容などじっくり見学しています。一巡しても、同じところ、見落としたところなどを見て楽しめます。何度入館しても飽きないので、ウォーキングの途中に定期的に立ち寄り、時間の許す限り見学しています。高齢なので、頭の運動にもなるかも？

ポブラ並木さん (80歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

展示物件が多いので、何回かに分けて訪問したいと思っています

いつも来館して展示物件を把握している方は、自分なりに計画して回っていると思いますが、一度訪問した人、遠方から来た人が改めて訪問を希望する方もいると思います。博物館側から業態別またはバラバラにくつかを回って見学するコースが紹介してもらえるとありがたいと考えています。私のようにフルタイム勤務(2年前まで)をはずれ、来館するようになった人もいると考えます。コースマップがあれば現役の人でも来館しやすくなると思います。

さっぽろボーイさん (65歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

予定を立てずに来て、巡る。
本能のままに展示に向かう

まっちーさん (33歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

気軽に好きな所から始めよう

Zariganiさん (55歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

なるほど！を楽しむ

他学部での活動の展示を見る

自分の学部だけではなかなか知ることのできない先端の研究や他学部の取り組みを見ることができるのは、博物館ならではのと思います。せっかくの総合大学なので、もっと他学部の人が交流する機会が博物館の中で起こればと思っています。

たくまさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

中学高校で習ったことを思い出し、なるほどと勉強になります

のりさん (60歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

きょうりゅうのかせきが
おもしろかったです

O・Sさん (6歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

"いま"を含めて、北大の歴史を
知ることができる良い場所です

展示が多くて見切れない・・・。
在学中に時間をかけてゆっくり見れば良かったです。

かなさん (31歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

何度も来ると、その度に
新しいことに気付かされます

オオバタンさん (20歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



想像をひろげて楽しむ

科学史展示の顕微鏡などの値段を想像しながら見る

私は仕事柄、実験器具が好きなのですが、そういった商品がラインナップされているカタログを見るとつい「意外と高いなあ」とか「こんな性能で安いノ」みたいなことをコメントしながら見てしまいます。個人的にこういうことを考えている時間がとても好きで、つい科学史展示の顕微鏡や昔の電卓を見ても同じことをしてしまいます。気が向いたらGoogleで検索してみて、当時の商品の高さにびっくりするのも楽しいですね。

S・Tさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

その研究をしている自分を妄想しながら見る

標本ホジホジ面白そー。顕微鏡ですごいものが見られたら大騒ぎしそー。教員や同じゼミの人たちと議論するのに熱が入りそー・・・とかいろいろ思いました。

?さん (?歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

展示室を通るとき、さりげなく来館者の国籍を予想している

ボランティア活動や自分の研究のための実験室に行くには、必ず一般公開している場所を通ります。平日だとかや外国の来館者が多いなとか、土日は日本人の親子が多いなとか、思います。

うみかなたさん (23歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

展示されている物のマネをしながら見ていく

ちーちゃんさん (8歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

獣医と古生物の骨格展示を往復して、類似や相違点を見たりします

また、理学部生物科の無脊椎動物の神経標本を見て、その製法に思いを馳せたり、北大で作ったものじゃないのかーとへこんだりします。

すだまさん (21歳・男性)

楽しむ **学ぶ** 感じる **ときめく** つながる

知りたい！を楽しむ

博物館は好きなだけ、好きな分野の展示を眺めるところ！

CAMUI ロケットは萌えます。同位体顕微鏡の塚本先生は憧れ。北海道・・もとい、日本の宇宙開発の一端を北大が担っているんだな・・と感じるところ！とても楽しい場所です！

Gon3 さん (44 歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

いつ来ても飽きることはありません

興味のある所やない所もしっかり見れば、とても勉強になったり、将来社会勉強になったりします。工学部、教育学部、理学部も見てください。

M・K さん (15 歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

虫のひょう本を見た。
ゆめは虫はかせ

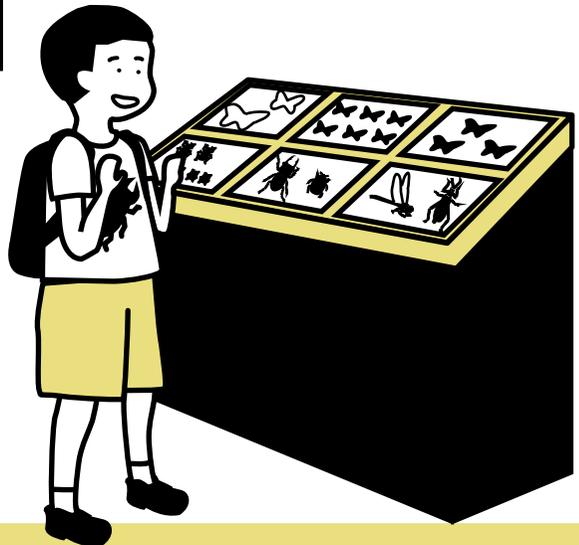
K・Y さん (8 歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

新しいことを知る

博コミュⅢさん (25 歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



がんばる！を楽しむ

やる気をもらう

勉強や面倒臭いことがイヤでだらだらする癖があり、鈴木章先生やクラーク博士の展示を見て、やる気もらう。ボランティアで活動しているクラシック演奏会に行き、刺激をもらう。どの展示も入場無料なのでありがたいし、誰でも入れる雰囲気大好きです。

A・A・Pさん (40歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

子供に戻ってワクワク、ドキドキ

社会人になるとワクワク、ドキドキ感って少なくなるけどこんなおっさんの俺でも子供の心に戻って「すごいなー！」と感じさせてくれました。知ること、学ぶことは生き方を知ることなのかな？ 今回だけに限らず、また来ます。俺も大学生になって深く学びたかった～／遅くない。今からでも学ぶぞ！

くまごろうさん (44歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

現在、77歳の老人ですが、勉強させてもらいました

時々来館しています。工学部の1～無量大数もようやく覚えられました。恐竜やマンモスなどのレプリカも楽しみにしていました。画面の中の恐竜にも驚かされました (NHKの映像)。今後も永く展示を続けてほしいと思います。稀少で、しかも貴重な展示物にワクワクしてしまいました。ありがとうございます。

石田さん (77歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

各学部のエリアを見学して、「やる気」を起こす

高校の修学旅行以来、四半世紀ぶりに北大に来ました。もしそのとき、博物館を見学していたら、北大に入ろうとしていたかもしれません。

ボンダさん (43歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ゆっくりと北海道の歴史にひたることができる。北大に入学したくなる

おかじまさん (?歳・?)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

いっしょに楽しむ

実際の大きさに驚いた子どもたちの
顔が印象的でした

子どもたちとの訪問でした。迫力満点のマンモスや恐竜などの骨格標本と記念撮影をしました。普段見たり触れたりすることのできない貴重な展示物を身近に気軽に見に行ける場所でした。今度は1人でゆっくり見学したいです。

S・Nさん (42歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

休日に子どもを連れてくる。
何度来ても飽きない模様です

SSNさん (41歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

展示物を楽しんでいる友人たちを
こっそりカメラで撮ること

くうさん (25歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



北大総合博物館の楽しみ方 * 展示室

中学生の息子を連れて

身の回りのことに無関心すぎる彼に、何か興味のきっかけとなる出会いを期待して。展示物の前を足早に素通りする彼を呼び戻しては、無理矢理解説する母、
・・疲れた。最後に「楽しかった？」と聞くと「うん」と。連れてきた甲斐はあったかな？

ムンムンさん (42歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

本州の友達を誘って何度も訪れる

展示を質問されて答えようとすることで、北大のことをより深く理解できる。

5 講さん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

一人で来たときは、気になる研究についてじっくり読む

周りに人がいないときはハンズオン展示をこっそりやってみる。友達と来たときは、他の人とのペースを気にしてしまい、展示をよく読むことはできないが、写真を撮ったりハンズオン展示を純粋に楽しめるので、それはそれで良い。個人的に顔ハメパネルか、それに準ずる展示がほしい。

なかむらさん (23歳・女性)

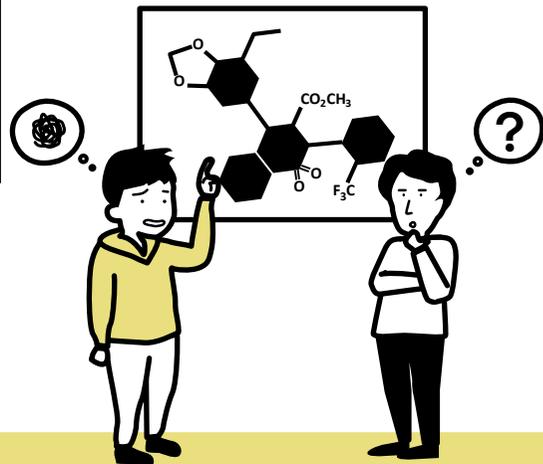
楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

難しすぎるところが良い

鈴木章先生の展示は、ベルギー人の友人を連れてきたときに説明に困るくらい難しかったのが、大学博物館らしくて良かったです。今後も容赦無い展示を心がけてください。

ヨシダさん (25歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



触れるを楽しむ

お気に入りスポットはハンズオン

いろいろな石を見たり、触ったりできる。知っていると思っていたことが、実は、少しだけで、もっと深く知ることができ、とても勉強になった。触って感触をつかめることで楽しめた。

ふーちゃんさん (43歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

触ることができる標本を 目を閉じて触感で楽しむ！

メガネさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ひたすら触る

比重体験のコーナー、化学が苦手でも楽しめました。

A・Kさん (24歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

クイズや医歯学部、ハンズオン展示 などの体験型展示を行うこと

文章を読み、展示物を見るだけではなく、自分の体を用いて学べたことが一番の理由です。また、知らなかったことを知ることができる点も楽しみ方の一つです。大学院に入学したばかりで知らないことばかりなので、一度にたくさんのことを学べるのはとても嬉しいことでした。

S・Tさん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

クイズで全問正解するように がんばる！

はやぶささん (9歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

剥製を楽しむ

ナマケグマ LOVE♡グッズ希望

スーラくんもすてきでした。妄想が広がるのがとても良いです。もっと、もふもふ剥製を増やしてください！

トトママさん (50歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

動物の剥製を見ながら、ボランティアの活動場所に向かう

博物館の中には、ガラスケースの中に展示しているものだけでなく、エレベーター前の手すりや廊下わきに動物たちの剥製があります。ふと何気ないところに目をやると、楽しみが増えると思います。

W・Hさん (21歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

剥製とたわむれる

瀬戸さん (27歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ナマケグマにおどろく

ふうこさん (7歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



みつめて楽しむ



イカ石、ブラキストンの剥製、
神経系の標本。これは必ず見る

Tam と CaCa さん (50 歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

標本を見に、2 度目の来館です

現在ではかなり貴重な皮膚ムラージュを見に来ました。たくさんの標本や古い新聞などを見ていると、俗世から切り離されたような、なんとも言えない心地よさを感じます。家が近所なので、またお散歩がてら来たいです。

おからさん (23 歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

うちゅうのところ。
みどりのいしがきれいだった

もにかさん (7 歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



非日常を楽しむ

時間の流れを忘れて、
心ゆくまで展示を眺めています。
とてもリラックスします

日頃からストレスを感じやすかったり、頭の中の整理が苦手だったり、時間に追われがちだったりして、日常生活がきつくなることがあります。そんなときに、展示を見て、考察することに集中するのは、私のリラックスの時間であり、癒しでもあるのです。

Arthur.Y.さん (19歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

地球や時間の大きさを知ると、
自分の小ささがわかり、謙虚に
なるとともに周りに感謝できる

Hamiさん (49歳・女性)

楽しむ **学ぶ** 感じる ときめく つながる

ぼーっと眺める

博コミュⅢさん (25歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

大昔のことを知る上で
貴重な場所だと思います

3年前から、フット古代などにタイムスリップしたくなる 때가 あり、年に1回は来ています。気持ちがリセットできて楽しんでます。専門的なことは難しいので、展示物に興味あります。幻想的なBGMが流れると、一層雰囲気盛り上がるのでは？

マニックスさん (57歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる **ときめく** つながる

見せ方を楽しむ

展示の空間の作り方と その様式について考える

博物館と美術館はどちらもミュージアムだけど、その違いや見せ方はどのように変化しているのか興味がある。外国では博物館の中にアート作品も交えて展示しているところもあるが、日本ではどのような見せ方があるのかなど。

?さん (24歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

展示に携わった人たちの こだわりを探しながら見る

見学者にどこを見てほしいのか、楽しませるためにどんな工夫しているかを考えます。自分がボランティアとして地学展示準備に携わったからだと思います。先日、マンモスの剥製の眼球がどの位置から見ても目が合うように入れられていることに気付き、一人で興奮していました(笑)

A・Uさん (女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

大学博物館であるという点から 資料を見る

一般の博物館では職員(学芸員)だけが展示を行うので、視点が定まってしまう。北大総合博物館では、学生や研究者など様々な立場の人が携わることで複数の見方が出てくるので、それが面白いと思います。

S・Tさん (37歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

理学部の展示を必ずチェックします

理学院の学生です。自分の分野がどのように展示されているのかは単純に興味があります(専門分野がどのように噛みくだかれているかなど)。

K・Mさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ショップ

グッズを楽しむ

ミュージアムショップに必ず行き、
時間をかけて商品を見る

博物館が好きで、いろいろな博物館によく出かけるのですが、展示を見た後、最後に必ずミュージアムショップに寄ることにしています。他の場所ではあまり見ることのないグッズばかりで、あらゆる「興味」が凝縮されているような面白さを感じる空間であり、商品が展示とリンクしている場所が多いので、博物館の余韻を楽しむのにピッタリの場所だからです。特に北大総合博物館は、北大オリジナルグッズが多く、展示の内容とショップの商品が強くリンクしているのでつい見入ってしまいます。

曜変天目ディスコさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

元素記号のマステを4個購入。
プレゼントにします

ブルゾンちえみさん (51歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ミュージアムショップ。
かわいいものがたくさんある

ミュージアムショップでは、植物画(北大植物園)や花のポスターカレンダーが販売されており、絵がとってもきれいで、植物のことも知ることができるので購入しました。また、雪のテンプレートは普通に買うことができないのですし、様々な柄を楽しめます。グッズはお家で癒しにもなっています。博物館に行った際は必ずショップに立ち寄ります。

ふーちゃんさん (43歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ショップでいろいろなものを
買うことが楽しみ

マイケルジュクソンさん (7歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

カフェ

美味しくを楽しむ

機内誌に載っていた、 ソフトクリームを食べること

広島から娘に会いに札幌へ来ました。AIRDOの機内誌(rapora)に博物館のソフトクリームが掲載されているのを見て、これを食べるために来館しました。とっても美味しかったです。

広島牡蠣さん (60歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ここで食事をするのが好きです

ハンバーグ定食と和風定食を食べたことがあります。メニューの数は少なくとも良い、思いきり北大にこだわったメニューを揃えてほしいです。あ、メニューだけでなく、食器やトレイ、お箸にも北大ゆかりのものを使ってほしいです。何か書籍を置いてくれたら面白いと思います。静かな音楽があるとより快適です。

K・Kさん (55歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ソフトクリームを食べる

あきなさん (23歳・女性)

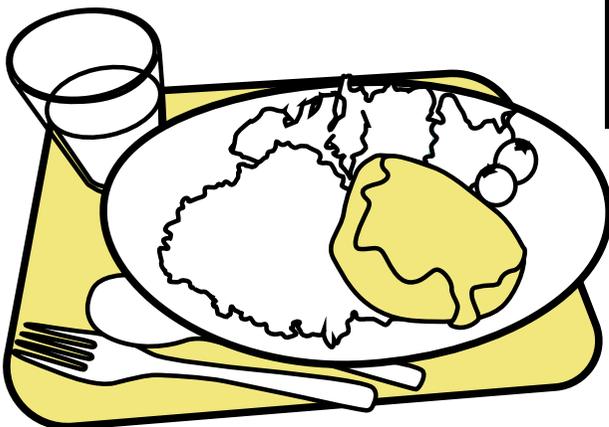
楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

カフェでの食事、おやつ

以前、研究室のイベントの打ち上げでカフェほらすを利用した際、サンドイッチやソフトクリームがとてもおいしく、印象に残りました。カフェオレもおいしかったです。学割があるのもうれしいです。

Y・Sさん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



北大総合博物館の楽しみ方 ＊ カフェ

カフェラテが本当に美味しいです。
癒されます

ふーちゃんさん (43歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ウッドデッキで、カフェのコーヒー
とソフトクリームを食べる！

そして本を読んでお昼寝をするのが最高に気持ち良い
です。

前浜ラーメンさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

今度来的时候は、是非カフェを
利用したいです！

今回初めて訪れましたが、予想外に博物館が楽しいと
ころであると知りました。これから何度も、一人でゆっ
くり見学したいです。歩いて30分ほどの場所に住ん
でいるので、天気の良いときに散歩を兼ねて来たいと
思っています。特に暑い夏にはカフェのソフトクリー
ムが美味しいのではないのでしょうか。楽しみです！

KOMIEさん (66歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



フリースペースを楽しむ

暑いときに涼しみがてら
カフェで仕事をする

SSNさん (41歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

初対面の人とのミーティングは、
ワインを飲みながら

打ちとけるのが数段早いです (笑)

はいじさん (37歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

カフェぼらすとフリースペース！

ミーティングやワークショップ、パーティなどで使わせてもらっています。フリースペースのおかげで、普段会う機会の少ないいろいろな人たちと会えるから。出会いと交流の場として本当にありがたいです。

おだちゃんさん (50歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

子供を連れて、ゆっくり過ごせる場

くろぼんさん (37歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



空間

居心地を楽しむ

はくぶつかんで あまやどり。
あめがやんでもあまやどり？

とよぼんさん (40歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

館内の香りと雰囲気に落ち着きます

静かにじっくりと楽しめる場所です。

オオバタンさん (20歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

博物館の雰囲気が好きです

人が多く集まらないからです。

T・Nさん (13歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

疲れたときのヒーリングスポット

たまにイベントに参加したり、展示を見たり。
ホッと一息つきながら楽しめるのがいいですね！

くまみさん (37歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

歴史を感じる建物に癒されます

2017Nobeさん (58歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

息詰まったときの憩いの場

大した理由はありませんが、仕事で疲れたときに展示
やカフェを見るときは癒されます。

?さん (43歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

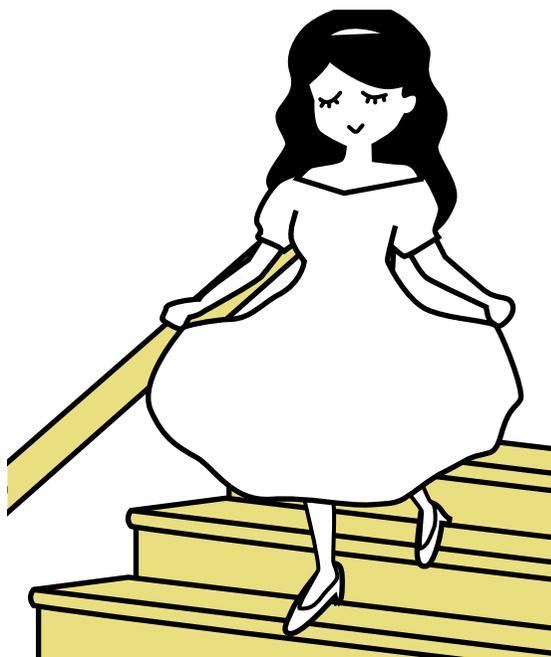
建物を楽しむ

階段をゆっくり姿勢良く歩く

ちょっとしたお嬢様気分を味わえます。

C・Kさん (23歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



博物館入口の扉を開ける瞬間が好きです

開けるときに扉が「キィー」となると、わくわく感がかきたてられます。

R・Hさん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



展示物だけでなく、 建物にも興味を持ちました

古いものを大切にされていて、かつ新鮮な感じに素敵だなあと思いました。

けいたママさん (42歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ナフタレンの匂いが好きです。
外と別世界の感じがします

Y・Hさん (62歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

展示室や建物の中の
古い匂いが好きです

博物館の近くに住んでいるので、構内を散歩がてらよく立ち寄ります。日常生活から一瞬離れ、古い建物の匂いに包まれた展示室を見て回ると、とても心が落ち着きます。来る回数が増えると、自然と最新のイベント情報などが入ってくるので、見逃してしまうことも少ないです。個人的には混雑している土日より、静かに見て回れる平日がおすすめです。

S・Kさん (51歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

階段や手すり、柱など古い建築も
好きです

N・Kさん (39歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

博物館に使用されている木を見る

博物館の至るところに、木が使われています。階段、手すり、椅子など、その用途は様々です。標本としてではない木を見るのも、それぞれ見え方に違いがあり面白いと思います。

W・Hさん (21歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



思い出を楽しむ

昔の小学校を思い出しました

展示物が入っている棚とか、階段のピカピカな手すりとか・・・よく手すりにまたがってすべり降りてたなあ・・・懐かしいです。また来ます。

ナポリタンさん (42歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

建物内の木の雰囲気、故郷の キリスト教小学校を思い起こします

V・Rさん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

おかあさんが昔働いていた所だよ！ と懐かしむ

あおいうみさん (51歳・女性)

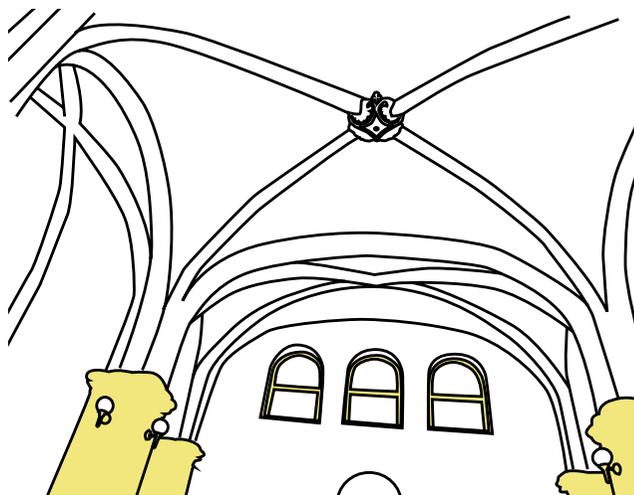
楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

アインシュタインドームは 私の青春そのものです！

いつも変わらぬ姿に感動します。私は年をとったのに・・・(笑)キレイに保存されていて感激でした。

Sさん (55歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



散歩を楽しむ

住まいが近く、散歩コースです

いいお天気の日ほとんど北大の中を歩いて、そのまま、札幌駅、大通りと歩きます。夏は日が長いので、帰りも歩いて、また北大の中を通ります。食堂で食事して休み、本を読んだり、そのあと博物館も立ち寄り、1日とっても楽しませてもらってます。何回か（リニューアルしてから）来ていますが、学ぶことがいっぱいあって、勉強になります。知らないことがいっぱい、これからもずっと利用したいと思います。

のりピーさん (69歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

研究につまったときのお散歩コース

発想につまったとき、机の前で頭が痛くなったとき、気分転換を求めて、博物館をぐるっと一周してお気に入りの展示や気になる展示をチェックし、最後にカフェで美味しいものを食べて研究室に戻ると、1〜2つくらい新しいアイディアが生まれる。

あおいさん (24歳・女性)

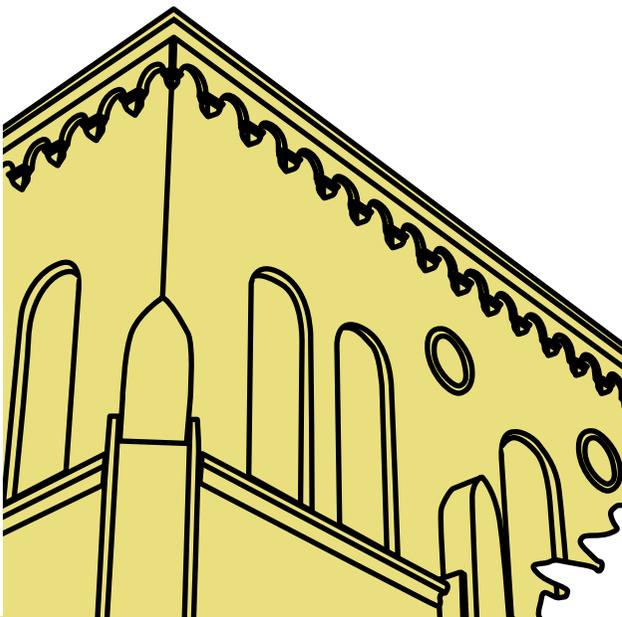
楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

この博物館、いつも私の散歩コースの風景の中にあるのです

北大総合博物館の楽しみ方？ 特にないねえ。でも、しいて挙げるなら、博物館の風景があって、北大の風景がある。北大生の歩く風景があって博物館がある。そんな感じだろうか。私には1つ楽しみがあってね。この建物の上部は、王冠をひっくり返したようなギザギザ状の飾りと、2つあるいは3つの丸い飾りがあって、それがすごく可愛いと思ってるんだよ。改装しても、これだけは前からの感じが残っている。こんなつまらない見方をしている者もいるんだ。

円次郎さん (66歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



イベント

参加して楽しむ

博物館で行われるイベントに参加することが好きです

講師の方だけでなく参加者の方もお話ができ、毎回とても勉強になります。

R・Hさん (22歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

企画展で気になるものがあれば見に行く

たくまさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

知識をふくらませることができる場

土曜市民セミナーに参加しました。解説が理解しやすくとても楽しかったです。

R・Sさん (64歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

月に何回かある公開セミナーに参加しています

そこでは新しい発見があり、質問にも答えてくれ、学芸員の代わりをしてくれています。ところで北大総合博物館には学芸員はいるのだろうか？

A・Mさん (63歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

おしよろ丸のセミナーで、先生と学生の対談が面白かったです

過去におしよろ丸のセミナーがあったときは、スクリーン映像を使って迫力あるシーンが印象に残っています。また、おしよろ丸の本も宣伝されていました。
・ ・ 買ってしまいました。

K・Kさん (56歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

北大総合博物館の楽しみ方 ＊ イベント

ポプラチェンバロ・コンサートをよく聴きに行っています

ルネッサンス、バロック期の曲が中心で、私が好きなバッハもよく演奏して下さいます。時々、弦や管の人も参加してバラエティを添えてくれます。ボランティアの皆さんのご尽力には頭が下がります。音楽系の学部がないのに、パイプオルガンやチェンバロがあるというのは、素晴らしい。そして、時々、コンサート終了後に、私にもチェンバロを弾かせてもらえて、感激！

R・Fさん (63歳・男性)

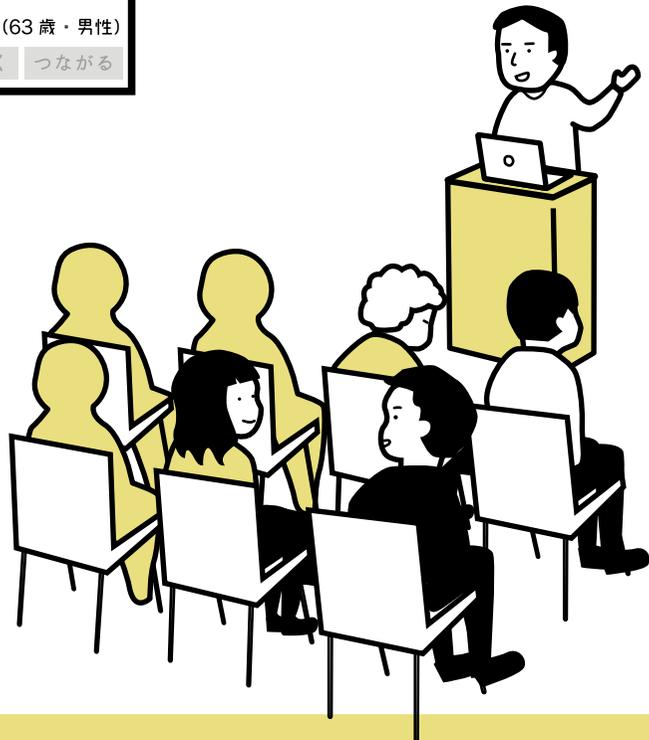
楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

異分野を知る場

サイエンスカフェや展示、教員・学生との交流から異分野を知ることが楽しいです。研究でつまずいたとき、異分野のことを知ると気分転換になり、解決策やアイデアをみつける良いきっかけとなりました。異なる分野の融合が求められる今、北大総合博物館の役割は大きいのではないかと思います。

K・Iさん (25歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



ボランティア 活動

ボランティアで楽しむ

博物館でいろいろやってる ボランティア活動

ボランティア活動に参加すると、普通の生活ではほとんど関われない、年齢や立場の異なる人たちとお話できます。そんな関わりの中で、普段気が付かないことに気付くことがとても面白いです。博物館を支える様々な学術活動や展示は、バックヤードにある標本によって支えられており、収集・保管されたコレクションの1つ1つに様々な研究やボランティアを含めた技術者のエピソードがあります。モノに対する理解が深まるほどに、博物館を楽しむことができると思います。

ハムさん (30歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ボランティアとして鳥類骨格標本の 作製と整理に関わること

円山動物園や様々な研究機関から送られてきた鳥類の標本を解剖して骨格標本にするのと同時に、最近では羽毛をフラットスキンとしてこちらにも標本にしています。また、標本に関する情報ができる限り失われないように記録、管理をしています。

これらの活動を通じて、発見された問題・課題について様々な分野の学生や社会人が意見を出し合って、解決・改善に向けていくことが楽しく、有意義な経験になっています。ボランティア同士の親睦を深める食事会でも、それぞれが好きなこと、究めていることについて熱く語っているのので、それらを聞くことも楽しいです。

T・Mさん (20歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



北大総合博物館の楽しみ方 ＊ ボランティア活動

すっかりたくましい北大生！

8月の初旬のある日、展示解説ボランティアとして対応していた私のもとに、一人の若者がやってきた。若者いわく、「2月の受験の前日たまたま博物館を訪れた際に励ましていただいた者です。晴れて合格したのでご挨拶にきました。」 そうだ思い出した。「合格したつもりで受験してごらん。必ず合格するよ。入ったら私をたずねてね。合格祝いに学食でラーメンをご馳走するよ。」と約束したんだ。本当は札幌へ引越しの際顔を出したが会わずじまいで今日授業の合間に来たのだという。これまで幾人もの受験生に励ましの言葉をかけてきたがだれ一人現れずで、この若者が第一号となった。受験生の弱々しい雰囲気は消え、すっかりたくましい北大生！ラーメンどころか、カフェの料理にコーヒー、アイスクリーム付きの豪華ランチとなった。うれしい一言に尽きる。この若者に幸あれ！

ベコ吉さん (80歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

点字の勉強が役立つときが来た

数年前より日赤札幌支部で点字を勉強して、ようやく修了証をいただきました。博物館に点字プリンターを寄付してくれる方が現れ、ハンズオンボランティアとして点字の解説シートを作成することになりました。点字の勉強が役立つときが来たのは、とれもうれしいことです。博物館の案内所や各階の説明パネルを点訳できれば・・・と考えています。あと何年元気で活動できるかわかりませんが、館内全部のパネルを点訳することが夢です。

博でござるさん (77歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ボランティアで

毎週博物館で活動しています

知り合いの紹介で化石ボランティアをすることになり毎週活動していますが、先生や学生の皆さんの貴重なお話を聞けて楽しいです。

S・Kさん (51歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

ヒト

博物館の人と楽しむ

解説ボランティアの方が
くだらない質問にも、
親切・丁寧に対応してくれたこと

パールさん (73歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

展示を企画した方にいろいろと
教えてもらう！

タナカさん (31歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

先生方、学生の皆さん、
ありがとうございます

42年ぶりの来館です。祖父の業績や残した物をもう一度見たくなり、(偶然の出会いもあって) うかがいました。祖父の残したもの、本当に大事なものは、祖父の研究やこころざしを受け継いでくださる方々であることをあらためて感じました。

なまずうさん (58歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

受付の人にあいさつしながら
正面玄関の階段をのぼり、
スタッフ気分で学生室へ行く

うみかなたさん (23歳・女性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

授業

「北大生」を楽しむ

博物館の展示解説員として
多くの人々に話を聞いてもらう

ミュージアムマイスター認定コースの一環である学生参加プロジェクトに参加し、企画展の展示解説を担当しました。正直、人付き合いが苦手な私でしたが、展示解説を通して多くの人と交流し、自分の知識やコミュニケーション能力を伸ばすことができました。

Y・Fさん (19歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる

学びや思い出のハブステーション

北大入学当時、『北大総合博物館で学ぼう』という講義を見つけました。「講義場所：総合博物館」という文字に、「絶対に面白いに決まってる！」と、すぐに履修することを決めました。もともと親が休日近くの博物館に連れて行って来てくれたこともあり、私は博物館が好きでした。しかし講義で今まで知らなかった世界を見せていただき、一気にその世界に引き込まれました。文系理系の枠を超えたいろいろな分野の先生方のお話は魅力的で、毎週の講義がとても楽しみでした。いつしか「将来は学芸員になりたい。一生博物館に関わりたい。」そう考えるようにまじりました。また、父は北大の理学部出身で、まさに旧理学部たる現総合博物館で学んでいました。帰省した際には「昔はどこで講義うけてたの?」「研究室はいまこうなってるよ」「昔は暖房がなくて薬品が凍ったんだよ」などの話に花が咲きます。

さらに、総合博物館という共通項をきっかけに友人がたくさんできました。私の所属する水産学部はキャンパス移行があることから、学部を超えた交流は少し難しくなる傾向にあると思います。そんな中、総合博物館で学部を超えた友人を作れる機会が与えられたのはとても幸運なことだったと思います。

学部や世代を超えて同じ空間で学びや思い出を共有できる、そんな楽しみ方ができるのは様々な分野を包括し歴史のある北大総合博物館ならではの楽しみ方ではないでしょうか。

K・Kさん (23歳・男性)

楽しむ 学ぶ 感じる ときめく つながる



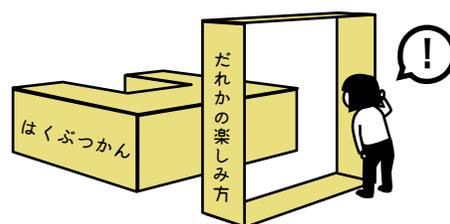
楽しみ方の共有

北大総合博物館を利用する人々によって語られた個性的な楽しみ方の数々は、博物館は開かれた楽しみの場であり、そこでの過ごし方は自由であることを教えてください。誰かの楽しみ方を通して博物館を見てみると、博物館を利用する人々にも、博物館運営に関係する人々にも、様々な発見があるのではないのでしょうか。例えば、「こんな過ごし方があったんだ」と博物館の使いこなし方がわかったり、「こんなモノがあったんだ」と見落としていた博物館の魅力に注目したり、「こんな利用者があるんだ」と個性的な過ごし方をする利用者の存在に驚かされたり、「こんな場所だったんだ」と博物館が提供する経験の多様さに気づいたり…。「楽しみ方」から生まれる発見は、「博物館」や「利用者」への見方を広げ、これからの利用や運営に役立つヒントとなるはずです。

そこで、私の修士研究では、ただ「楽しみ方」を調査するだけではなく、博物館を利用する人々や博物館運営に関係する人々と「楽しみ方」を共有するためのワークショップや座談会、ミニ展示を行いました。ここからのページではこれらの取り組みについて紹介します。

実は、この冊子も楽しみ方を共有するための媒体の一つです。この冊子をご覧のあなたにも、何かしらの気づきや発見があることを期待しています。

誰かの楽しみ方を通して
博物館を見てみよう



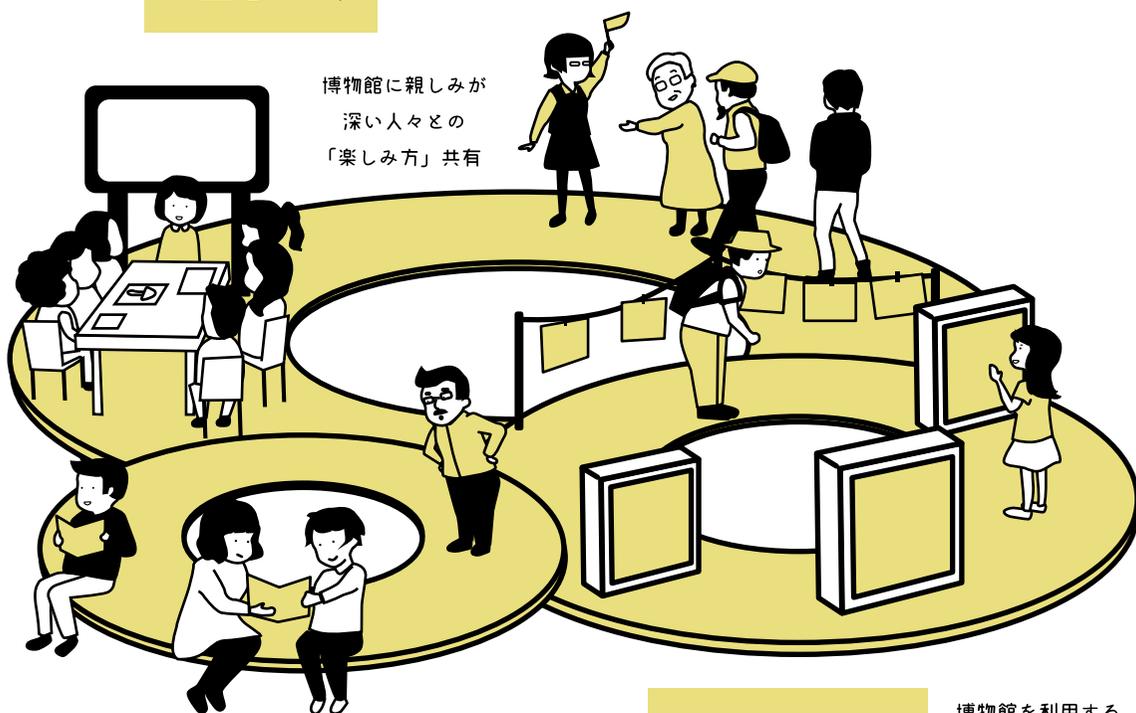
共有の かたち

濃く深く
語り合う時間

座談会

ワークショップ

博物館に親しみが
深い人々との
「楽しみ方」共有



利用者はもちろん、
博物館関係者や将来の利用者にも
届けたい

冊子

アーカイブとして
残すもの

ミニ展示

博物館を利用する
多くの人々へ

他者の視点を
知る気軽な場

ワーク ショップ

言いたい・聞きたい

みんなの楽しみかたり



言いたい・聞きたい
3/19 (日)
14:00~16:30

みんなの楽しみかたり

みなさんには、誰かにオススメしたい北沢総合博物館の楽しみ方がありますか？
また、他の人がどんなふうにこの博物館を楽しんでいるのか気になりますか？
本企画では、みなさんの北沢総合博物館の楽しみ方を踏まえていただき、そこで学ば
れた博物館案内方法を考え、実際にその方法で来館者を案内していただきます。この
博物館の魅力をもっと引き出した、新たな視点の博物館案内を提案してください。

1 聞く
古い文化施設博物館の楽しみ方を語り、博物館案内の心、伝えます。

2 考える
"どんなふうに楽しんだか"、"また楽しみたい"という気持ちをもとに、博物館案内方法を考えます。

3 案内する
考えられた案内方法で、30分間、一般の来館者を案内します。

4 聞く
案内した方に"楽しかったか"を尋ね、意見を伺い、案内に直す点も提案します。

主催：3名（有志）
申込先：https://www.city.nishikawa.nagano.jp/citymuseum/entry.html
申込締切：3/16（日）18時
申込料：なし
お問い合わせ：026-252-2111（平日9時～17時）

- ◆ 2017年3月19日（日）
- ◆ 総合博物館 1F ラウンジ
- ◆ 自分たちの楽しみ方を踏まえた来館者案内を行う
- ◆ 参加者：3名の博物館ボランティア

当日の流れ

あいさつ
自己紹介
15分

楽しみ方を語る
案内方法を考える
30分

来館者と合流
博物館案内を行う
30分

振り返り
15分

それぞれの楽しみ方を語った後、来館者に「また博物館に來たい！」と思わせる博物館案内方法を考えました。



「楽しみ方ってとっても難しいと思うの。すごく個人的なことでしょ。」

「難しい。人によって好みが全然違うから。」

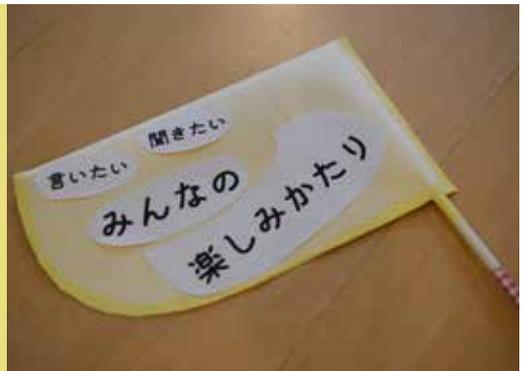
「そして、ここに来る方は本当に知識がある方もいる。」

「逆にそういう人は聞いてあげたほうがいいんじゃないですか。自慢話でもなんでも聞いてあげるほうが、向こうもテンション上がって話してくれるから。それがいいかもしれないですね、知識ある人は。」

「企画展『北大古生物学の巨人たち』、学生の解説がとても良いし、大事な標本がレプリカではなく本物で出てるの。興味がない方にもぜひ見ていただきたい。」

「じゃあ、まず企画展から行きますか。」

「さっき入口で家族連れとすれ違って、『企画展見ました？』って聞いたら『見てない』って言うの。だから連れて行ったら、子供達はきゃーきゃー喜んだ。来る人はみんな企画展を見てると思ったけど見てない人もいるのね。」



当日集まった来館者3名を連れ、実際に館内を案内。来館者の興味関心に沿う案内となりました。

◇ ワークショップを終えて

- ◆ 「来館者が思っていた以上に北大キャンパスに愛着があったことが印象的だった。」
- ◆ 「来館者の方に質問をしたら逆に教えてもらったことが楽しかった。自分から伝えようとがんばるのではなく、他の人と考えをシェアできたのが良かったのかもしれない。」

座談会

博物館でなに撮った？

写真で楽しみかたり



座談会 写真で楽しみかたり

展示場に館内だけでなく実家撮影OKな総合博物館。
みなさんは博物館のどのようなところに魅力を感じ、
どのような思い出を持って帰っているのでしょうか？
みなさんに総合博物館で撮影した写真を
持ち寄っていただき、どのように博物館を
楽しんだか話を聞いていただく座談会を
行います。戻ってあなたの写真で、
総合博物館の魅力をお聞かせください。

博物館でなに撮った？

5月21日(日)

時間：①10:00-12:00
②14:00-16:00
場所：北海道大学総合博物館
定員：各回4名(先着)
事前申し込み・写真もご寄ってください

- ◆ 2017年5月21日(日)
- ◆ 総合博物館 2F ミーティングルーム
- ◆ 持ち寄った写真を通して楽しみ方を語る
- ◆ 参加者：4名の博物館ボランティア

当日の流れ

あいさつ
自己紹介
20分

楽しみ方を語る

80分

まとめ

20分



アインシュタインドーム

「アインシュタインドームがお気に入りの場所ということで。」

「うん。お嫁に行けるんだったらここで結婚式をあげたいくらいです。」

「私も、博物館の階段好き。」

「ああ、いいよね。昔からの階段がね。」

「階段の手すりが好き。」

「うんうん。朝と夕方とで窓からの光線の入り具合が違って、またいいですよね。」

「私は手すりばっかり見ちゃうんですよ。」



春にはしだれ桜を楽しみながらボランティアの活動を行う

「菌類ボランティアで、昔の古い標本を紙で包み直すんです。その中に錚々たる研究者の名前が書いてあるんです。『この人、若いときにこんなことやってたんだ』って、開けるときにすごく感動。」

「宮部金吾先生とかね。」

「それが最初はわからないのね。MとかFとか書いてあるだけで。『誰かしら、この斎藤さん』なんて言いながらやってるんですけど、『こういう研究した人なのよ』って教えてもらうと、そうなんだ！って。」

「感謝しますよね。」

「その人たちが若いときに一生懸命集めたものがここにあると思うと、感激するよね。」

「すごい達筆なのよね。読めない。解読不能。」

「このままをこの人の資料として博物館に飾りたような美しさもあるのね。すごいなあと思って楽しい。パッと開けて、もうボロボロになってるものもあるけど。」

「そうね、中に何もなくなってるものもある。」

「何十年も前の人のものがそのままの形で、それも標本庫やガラスの向こう側ではなくて、直に見れるところにあるっていうのはすごく感激よね。」

「手は真っ黒になるけどね。」

「100年以上の前の資料だから、ネズミがかじっているものもあったり。今みたいにきれいなものではないから大変。でも、そういう出会いがある。」

「長い研究の蓄積がある北大だからこそその出会いですね。」

座談会を通して、参加者それぞれが博物館に対して、異なる関わり方をしていて、様々な意味付けていることがわかりました。

ニ = 展示

北海道大学総合博物館

「みんなの楽しみ方」展

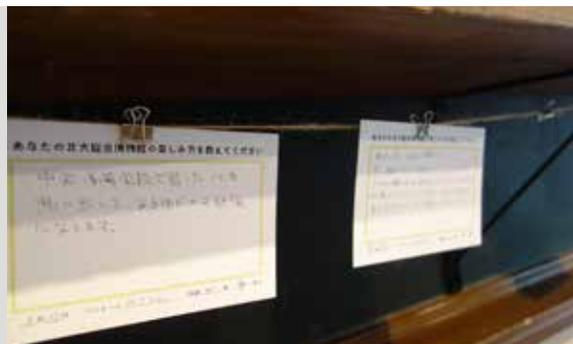


- ◆ 2017年7月25日(日) ~ 8月27日(火)
- ◆ 総合博物館 1F ラウンジ
- ◆ 調査に寄せられた楽しみ方をイラストで紹介





見学者が自分の楽しみ方をカードに書いて、
 展示を増やしていく参加コーナーには、
 計 88 件の楽しみ方が寄せられました。
 ここで寄せられた楽しみ方の一部は
 p.5 ~ 34 で紹介しています。



◇ 見学者からの声

- ◆ 目のつけどころが様々で、今後注目してみようと思った (20 歳・男性)
- ◆ みんながどんな楽しみ方をしているのかがわかって「へえー」となりました (50 歳・女性)
- ◆ それぞれの意見の多様さ、(ボランティアなど) 博物館に関わる人の多さを知った (31 歳・男性)
- ◆ 頭を柔らかくすると博物館の魅力は無限大 (51 歳・女性)
- ◆ 来る理由に立派なものはないと理解した (37 歳・女性)
- ◆ 博物館の楽しみ方というと、展示の見方や内容のことなのかなと思いがちですが、
 様々な視点の楽しみ方があり、私自身の博物館の見方も一皮むけた気がします (22 歳・女性)

展示の一部は、常設展示室 (2 階・マンモスの前) に場所を移して展開中

まだまだ！みんなの楽しみ方

p.5~34 で紹介しきれなかった「北大総合博物館の楽しみ方」をご紹介します。

展示

滞在時間4時間以上…。子どもたち(7才、6才)といっしょに北大にお散歩に来てふらりと立ち寄り、はまる。◆BOWさん(42歳・女性)

クイズが楽しかったし、勉強にもなった。◆かりんさん(9歳・女性)

常設展の理学部コーナー。黒板に書かれている内容が毎週変わっているらしく、来るたびに違った情報が手に入る。論文も掲載されており、面白い最新の研究に触れられる。◆R・Sさん(20歳・男性)

北海道のれきしをべん強するところ。◆キャサリンさん(8歳・男性)

博物館はものにふれ、人の心にふれるから共用と共感を経験できる素敵なおところ。◆N・Kさん(45歳・男性)

ぼくは古生物が好きなので、小さいときから3階に行っています。ぼくの楽しみ方は、「昔と比べること！」◆あまいさとうたくさん(10歳・男性)

いろいろな展示があって面白い。知的好奇心をくすぐる。知的な交流の場。◆S・Aさん(61歳・男性)

クイズで正解する。◆Y・Kさん(9歳・男性)

分野外でも楽しめる展示。北大がどういうところかだけでなく、科学の知識も身につく場所。◆瀬戸さん(27歳・女性)

昆虫の模型と一緒に写真を撮りました。◆A・Kさん(24歳・女性)

今、どんな研究されているかや、どのようなことがわかっているかを見て楽しむ。◆ギャラエビH.Iさん(15歳・男性)

生徒が楽しむには、少し難しいかなあと思いながら歩きましたが、ぜひ連れて来たいです。漢字にふりがながあるのもっと良いです。◆まっきーさん(51歳・女性)

きょうりゅうのかせきがたのしかったよ。きょうりゅうがすきだからです。◆?さん

地域の自然や大学の研究内容を知ることができる。◆2017Nobelさん(58歳・男性)

散歩。面白そうな展示を見つけるためです。◆S・Sさん(24歳・男性)

比較解剖的観点から楽しんでいます。◆?さん

入口→3階の病理の部屋→恐竜の部屋→帰る。病理の部屋はグロテスクで面白い。恐竜の部屋は大きな恐竜やワニが見れる。◆メサイヤさん(29歳・男性)

Be ambitious, Be humble, Be creative, Be dreamer, Be funny, Be crazy but not Be lazy. ◆ジョージさん(49歳・男性)

大学について友人に教えるのに助かります。札幌農学校の成立の系譜がわかるので、学内外の人にもおすすめできます。◆ヨシダさん(25歳・男性)

カフェ

学部別にどんなことがやってるのかよくわかる。とくに医学部や理学部の研究成果は、生活の中では見ることができなくて、珍しかった。◆K・Sさん(64歳・男性)

日常生活の中で普段関わりのない方に出会える。◆V・Rさん(22歳・女性)

博物館を出る際に、入口付近の募金箱にお金を入れると、楽しいことが起こる。試してみてください。◆5講さん(22歳・女性)

じっくり見れば丸1日。好きな所だけかいつまんで見ながら、お散歩気分。疲れたらジオパフェを食べてまったり。今度はお昼寝しに来よう。◆あおうみさん(51歳・女性)

説明文は読むの面倒くさいけど、読んだ方が絶対面白い!だまされたと思って読んでみるべし。◆ろっきさん(22歳・男性)

現在北大でどんなことが行われているか知りたい。北大卒業生です。過去と現在進行に興味があります。◆Tokuさん(59歳・男性)

いろんなこと学んだ。◆はーちゃんさん(4歳・女性)

4泊5日の旅の途中で博物館を訪れました。言葉はわからないけれど、それはそれで楽しいんでいます。ここはゆっくりと静かに時間が流れる場所だと思います。◆?さん(?歳・女性)

自分もってる知識との照らし合わせ(と言いつつそこまで知識はない)。◆ヤマカカさん(17歳・女性)

ミーティングでお世話になっておりまつる。◆ちぐにたさん(22歳・女性)

市内のコーヒーショップとは異なる静かな雰囲気の中で、ゆっくりとコーヒーを楽しむことが魅力だと思います。◆ふわもこさん(38歳・男性)

食べ物を楽しみに来た。豆カレー、リゾット、コーヒー、ソフトクリームをいただいて、とても美味しかった。◆H・Sさん(57歳・男性)

カフェでコーヒーを飲む。独特の匂いが好き。◆たくまさん(23歳・男性)

博物館のカフェで飲み会などをできるのが楽しそう。博物館ならではの映像が映写されていたらとても良いと思います。◆S・Tさん(37歳・男性)

空間

建物もステキですが、私が一番うれしかったのは木の貼ってある階段です。足に当たるところがやわらかく、自然の中にある北大らしいですネ。◆KOMIEさん(66歳・女性)

ドアや大理石の階段など、古道具を見ることが。この階段をどれだけの人が踏みつけたのか考えます。古いものや歴史あるものを見たいのに、リニューアルで綺麗になりすぎてしまって少しがっかり。◆Y・Hさん(62歳・男性)

この建物に歴史を感じ、すごく楽しいです！古い建物の匂いがします。階段の手すりとか玄関とかがレトロさがあって良いです。◆?さん(20歳・男性)

博物館が好きでよく来ます。もの静かで落ち着きます。◆H・Aさん(50歳・男性)

壁や天井を見る。◆あきなさん(23歳・女性)

標本の匂いがスキ。◆はいじさん(37歳・女性)

北大の中にある博物館だからこそ、ちょっと寄ってみようかと思える気楽さがあります。◆Y・Sさん(53歳・男性)

友人の元職場だったので、会いに来るとホッとする場所でした。リニューアルされたことで、新しい部分と古い部分を探すのが面白いです。◆K・Kさん(37歳・男性)

イベント

坂本直行さんの作品展示見学とその講演会に出席して、直行さんの人となりを知ることができ、大変良かった。◆ポブラ並木さん(80歳・男性)

台風で倒れたポブラで制作したチェンバロの演奏日に出会うことができて感激でした。◆ポブラ並木さん(80歳・男性)

おしよ丸展、学科別展示などの企画展。博物館は、新しいことを学ぶ、知る場所。◆ディアボさん(20歳・女性)

ホリデーテレーリングのスタンプを押す。◆はやぶささん(9歳・男性)

サイエンスカフェの会場として利用させてもらったことがあり、来場者もスタッフも、非日常空間の中で話はずんだ。◆はいじさん(37歳・女性)

ボランティア活動

第2農場のボランティアをしているので、第2農場の映像を椅子に座ってメモを取りながらゆっくりしています。◆キノコおばさん(64歳・女性)

一番気に入っている場所は、古生物の展示室です。どのエリアも楽しいのですが、個人的にボランティアとして博物館の活動に参加して楽しんでいます。学生仲間と一緒に古生物展示の改修に貢献したことが印象的な思い出です。◆Chinzoさん(35歳・男性)

ボランティアの活動が楽しい。◆Y・Oさん(68歳・女性)

北海道大学総合博物館の楽しみ方

発行日 2017年11月

発行：北海道大学大学院理学院 自然史科学専攻
科学コミュニケーション講座 博物館教育・映像学研究室

企画・編集・執筆・イラスト：増田彩乃*

協力：北大総合博物館、大西慶・手島駿・徳丸沙耶夏*

撮影：藤田良治*

監修：湯浅万紀子*・藤田良治

*北海道大学大学院理学院 自然史科学専攻 科学コミュニケーション講座 博物館教育・映像学研究室

本冊子は、北海道大学大学院理学院の修士課程研究の一環として作成されました。

『北海道大学総合博物館の楽しみ方』の著作権は原作者にあり、著作権法で保護されています。

ご自身の利用範囲内で、ダウンロードや印刷することは構いませんが、

無断で転載・複製・配布・公衆送信などを行うことはできません。

私的利用の範囲を超える使用を希望される場合は、使用する前に必ず博物館教育・映像学研究室までご連絡ください。

